



緑ヶ丘小学校のみなさん、こんにちは。
 今はなかなか外で遊べませんが、時には散歩など軽い運動をすることは大切です。今日は校長先生が学校の周りを歩いていて気付いた「ツツジ」という植物の仲間の花の不思議を紹介します。
 ツツジの仲間は皆さんの背たけよりも低い高さの植物で、今の季節たくさんの赤紫色の花を咲かせています。



校長先生が子供のころは、この花をむしって花びらの根元に口をつけ、わずかな蜜を「甘い甘い」と味わっていたものです。(よい子のみんなはまねしないように)
 緑ヶ丘小学校にもこんなにきれいな花が咲いています。
 この咲いている花の様子をよく見ると・・・
 花の真ん中から、虫のしゅっかくやアンテナの形のようなものが何本もひょろひょろと伸びています。(おしべやめしべという)



もっとよくみると、どの花についているこのおしべやめしべも、まっすぐ生えているわけではなく、曲がっていることがわかります。

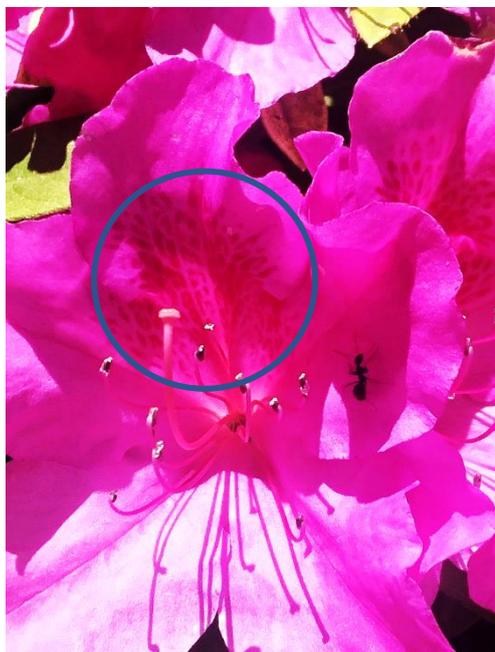


この花のおしべやめしべも、全部同じ方向に曲がっています。



こちらの花のおしべとめしべも上のほうに曲がっています。

どうしてなのでしょう？



おしべとめしべが曲がっている方向をみると、5枚の花びらのうち、一つだけ濃い赤色のもよう(マーク)がついていることを発見しました！

なぞは深まるばかりです。

この模様はいったいなんだ・・・



その時です。

花びらの赤い模様めがけて突進していく黒い影……

ミツバチです。

赤い模様につつかったハチは、そのまま蜜を求めて花の奥にもぐっていきました。



ちょっと待てよ……

これって、おしべとめしべが曲がっていることと何か関係があるのではないかな……

校長先生の頭の中にある考えが浮かびました。

ツツジの仲間の花は、花びらのもようを目印にしてハチを蜜におびきよせているのではないだろうか……

そこで、人差し指をハチの代わりに花びらの赤い模様近づけていくと……



ぐにやりと曲がったおしべの先が指先に当たります。

おしべの先の黒い袋に入っている、黄色い粉(花粉)が指にたくさんつきました。

そして、なんと糸のようにたくさんの花粉がずるずると指にひっついてきました。ねばねばしているらしく、指を振ったくらいではとれません。



どうやら、これがツツジの仲間の植物の作戦だったようです。

蜜の香りと赤いマークでハチを呼び寄せ、その体になるべく多くの花粉をくっつけるのです。

ハチにくっついた花粉がこれからどうなるのか？何のために花粉をくっつけるのか？「ツツジをめぐる冒険」はまだまだ続きます。

☆ツツジは白い花やピンクの花もあるけど、やっぱり花びらに一つだけ模様があるのだろうか？

☆ほかにも花びら1枚だけに模様がついている植物はないだろうか？

☆ツツジに似ている「サツキ」という植物があるけれど、花の仕組みはツツジと同じだろうか？ちがうだろうか？

みんなも時には外へ出て、町を散歩しながらいろいろな生き物のヒミツを探してみよう！